

令和５年度 森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京 都 府
福 知 山 市

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第３項の規定により、令和５年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。

令和６年１０月３１日

１ 総括表

（１）使途別事業一覧

区 分	使途・目的	事業数	事業名	事業総額
森林整備	森林経営管理制度の推進	1	森林経営管理事業	70,690 千円
	その他森林整備事業	3	安心・安全の森づくり事業 循環型森林整備モデル事業 間伐補助事業	30,901 千円
森林整備の促進	人材の育成及び確保	1	林業の担い手支援事業	7,352 千円
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発	1	「人と環境にやさしい」植物繊維素材給食食器導入事業	91,212 千円
	木材利用の促進	0		0 千円
	その他森林整備の促進に関する事業	0		0 千円
基金積立		0		0 千円
令和５年度に活用した森林環境譲与税の総額				134,249 千円
（参考）令和５年度に譲与された森林環境譲与税額				94,848 千円
（参考）令和５年度に基金から取り崩した額				39,401 千円

(2) 森林環境譲与税の活用による事業評価（総括）

○森林経営管理実施権配分計画に基づき、森林整備を実施された。
○境界明確化が完了した地区において、森林経営管理意向調査を実施できた。
○航空レーザ測量及び森林資源解析が完了した地区において、境界の明確化を進めることができた。
○林道・作業道の基盤整備が実施できた。
○伐期を迎えた人工林の更新が課題とされる中、循環型森林整備モデル地区を指定し、令和4年度とは異なる手法で、地域と協働して循環型森林整備を実施した。
○面的なまとまりをもって、効率的に実施される間伐と、木材利用のための積極的な出材を推進することができた。
○自伐型林業に関する研修会により、自伐型林業者のスキルアップを図るとともに、支援制度により新たに2名が作業道開設に着手した。
○市内の間伐材を原料とした給食食器の導入により、木材の地産地消を進めるとともに、食器を使用する児童生徒が環境問題をより身近なものとして捉え、SDGsについて考えるきっかけを作ることができた。

2 各事業の実績

事業名	事業総額（千円）				当年度の基金への 積立額 (千円)	事業内容	実 績
		うち当該年度の森林 環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
森林経営管理事業 (林業関係事務事業 人件費の一部を含む)	70,690	33,486	37,193	12	0	○経営管理実施権配分計画に基づく森林整備（観音寺地区） ○森林航空レーザ測量データ、公図等を活用した森林境界明確化の実施（平野・板生・二箇地区） ○森林所有者への意向調査集計及び追加調査（室・市寺地区及び河守・河西地区）	○森林整備 間伐3.90ha 搬出材積315m3 ○森林境界明確化 2,192ha(森林簿面積) ○意向調査 17.9ha(森林面積)
安心・安全の森づくり事業	14,420	8,723	0	5,697	0	○林道及び作業道の基盤整備を実施	○整備路線数：16路線
安心・安全の森づくり事業 ※R5線R6歳出予算分の基金繰入	0	0	2,209	0	0	○本事業の令和6年度繰越予算充当分の基金繰入 ※予算繰越に伴う手続き	繰越予算2,454千円-地元分担金245千円 ※事業実施は令和6年度中
循環型森林整備モデル事業	8,594	7,761	0	834	0	○主伐・再造林を軸とした循環型森林整備モデル施策を実施（上夜久野門垣地区）	○循環型森林整備エリア：0.20ha 主伐・再造林 0.20ha 搬出材積 125,301m3 作業道開設・補修 360m
間伐補助事業	7,887	4,196	0	3,691	0	○国庫補助金を活用し、森林経営計画に基づき行われる間伐に対し、上乗せ補助を実施 ○上記間伐のうち、搬困難区域からの出材に対し支援	○間伐面積:36.84ha ○搬出困難区域からの出材:1,300.779m3
林業の担い手支援事業	7,352	5,683	0	1,669	0	○新たな林業の担い手の掘り起こしを目的に、自伐型林業に関する公開体験研修と対象者を限定した実践的な研修を実施 ○自伐型林業者の丈夫で崩れにくい作業道の開設・整備(補修)を支援	○公開研修 合計8日間 延べ参加人数 87人 ○作業道 開設 672m 整備 111m
「人と環境にやさしい」植物繊維素材給食食器導入事業	91,212	35,000	0	56,212	0	○市立小中学校で、植物繊維素材を使用した給食食器を導入 ○更新する食器に環境の視点から教育的意義を持たせ、さらに福知山産木材の製品化により地域資源の魅力再発見、シックプライドの醸成を図る	○給食食器の導入:8,000セット ○市内全小中学校の2学期の給食から新たな食器を使用開始